

# 第34期 報告書

平成18年4月1日～平成19年3月31日

# TAIYO ELEC

JASDAQ

証券コード:6429

● 株主・投資家の皆様へ

ごあいさつ

株主および投資家の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別の御引立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

当期のわが国経済は、企業収益の拡大を背景に民間設備投資や雇用環境にも改善が見られ、個人消費も堅調に推移するなど、景気は緩やかな回復基調となりました。

遊技機業界におきましては、遊技機ホールの大型化および新規出店の増加を背景に、プレイヤー獲得のための積極的な新機種導入により需要は堅調に推移しました。一方、プレイヤー人口が引き続き減少傾向にある中、遊技機ホール間による競争激化が続いており、遊技機ホール店舗数も減少傾向にあります。また、パチスロ機の規則改正後の新基準機への入れ替え期限をむかえるにあたり、多額の資金が必要となることから、遊技機ホールの経営環境は益々厳しくなっております。このような市場環境の中、遊技機メーカーが市場投入する機種数は増加し、遊技機ホール側において遊技機を選別するハードルが高くなったことにより、遊技機メーカー間の販売競争も激しくなっております。

このような状況のもと、当社は、コーポレートブランドの確立をコンセプトに、時代と情報を先取りしたゲーム性・ビジュアル性・サウンド性・オリジナル性および豊富な演出に重点をおき、クオリティの高い機種開発を行ってまいりました。

パチンコ機につきましては、新機種として「CR 大陸物語」(平成18年5月発売)、「CR 超神の剣」(平成18年7月発売)、フルモデルチェンジしたラールス枠使用の第1弾として「CR スタートレック」(平成18年10月発売)、導入されたホール等から非常に高い評価をいただきました「CR 機動新撰組 萌えよ剣」(平成19年1月発売)、アメリカンコミックのヒーロー達が活躍する「CR マーベルヒーローズ」(平成19年3月発売)などを中心に販売しました。しかしながら、メーカー間における販売競争の激化、市場的要因により1店舗当たりの販売台数が伸び悩んだこと等により、売上高は計画を大幅に下回りました。この結果、パチンコ機の当期販売台数は、57,788台(対前期比27,685台減)、売上高は、131億65百万円(対前期比54億94百万円減)となりました。

パチスロ機につきましては、規則改正後の新基準機第1弾として「お江戸大捜査線」(平成19年3月発売)を販売しましたが、新基準機への入れ替えに対する先行き不透明感から、パチスロ市場全体の入れ替えスピードが予想以上に緩やかに推移し、売上高は計画を下回ることとなりました。以上により、パチスロ機の当期販売台数は、1,124台(対前期比1,030台増)、売上高は、3億34百万円(対前期比3億29百万円増)となりました。

以上の結果、当期の売上高は135億21百万円(対前期比51億56百万円減)と前期を大幅に下回りました。

また、利益面につきましては、新枠第1弾としての「CR スタートレック」の市場への普及が計画どおり進まなかったため、次機種以降の機種についても、利益率の低い新台の販売比率が高くなったことにより、利益率は計画を大きく下回ることとなりましたが、結果として新枠の普及に努めた期となりました。また、経費の効率化に努めましたが、研究開発費については、今後の開発競争のさらなる激化が予想される中、いち早くニーズを取り入れることが最重要との考えから、計画どおり積極的にパチンコ機とパチスロ機の同時開発を行いました結果、経常損失15億76百万円(対前期比24億38百万円悪化)、当期純損失16億54百万円(対前期比24億54百万円悪化)となりました。



代表取締役社長

佐藤英理子

## 次期の見通し

次期の見通しにつきましては、遊技機ホールを取り巻く経営環境は依然厳しく、また遊技機に対する評価も厳しさを増す傾向にあることから、メーカー間の競争はさらに厳しくなると予想されます。このような状況のもと、当社はクオリティの高い機種開発を追求しながら、さらなるコスト低減、および品質ならびにセキュリティの強化に終始徹底してまいります。加えて、サミー株式会社との事業・資本提携によるシナジー効果があらわれる体制を早期に構築するとともに、当社の経営資源を最大限に活用することにより、業績を安定的に維持し財務体質と経営基盤の強化を図ってまいります。さらに、中期的目標として、遊技機市場におけるトップシェアグループに入るタイヨーエレクトリックブランドを確立することを目指してまいります。

パチンコ機につきましては、上期は、依然として利益率の低い新台比率が高くなるもの、下期は、新卒の普及効果があらわれ利益率の高い面替比率が高くなるものと予想しております。また、パチスロ機につきましては、新基準機への入れ替えによる特需が予想される中、パチスロ分野へ本格的参入をするとともに業績への一層の寄与を見込んでおります。

以上のような見通しの中、平成20年3月期の業績につきましては、

販売台数	97,000台
（パチンコ機7シリーズ	88,000台、
パチスロ機3シリーズ	9,000台）
売上高	243億80百万円
営業利益	12億30百万円
経常利益	11億80百万円
当期純利益	8億50百万円を予想しております。

また、当社は、企業価値を高めながら、株主の皆様へ利益還元を図ることを経営の重要課題と認識しております。利益配分につきましては、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しながら、安定した配当を継続していくことを基本方針とするとともに、現在および将来の業績動向をベースに、財務状況や配当

性向などを総合的に勘案しながら実施していきたいと考えております。

また、内部留保金につきましては、今後の事業展開を図るための設備投資、開発力の強化・充実への投資等に充当してまいります。

当社では、このような方針のもと当期の期末配当予想額を1株当たり20円と発表してまいりましたが、当期につきましては、大幅な当期純損失を計上することとなりました。このため、誠に遺憾ながら当期の期末配当金につきましては、無配とさせていただきたいと存じます。当社といたしましては、安定した利益を確保して企業価値を高めるために、総力をあげて収益力および財務基盤の強化を進めてまいります。

なお、次期の配当につきましては、当期純利益の黒字回復が見込まれるため復配を予定しております。しかしながら、財務基盤の強化や内部留保の確保などを総合的に勘案する必要もあるため、期末配当予想額として1株当たり4円とする見込みであります。

株主および投資家の皆様におかれましては、なにとぞ旧日のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月

### 中長期的な会社の経営戦略および目標とする経営指標

当社の中長期的な経営戦略といたしましては、サミー株式会社との事業・資本提携によるシナジー効果があらわれる体制を早期に構築するとともに従来の主力事業でありますパチンコ機事業に加えて本格的にパチスロ機事業への参入により遊技機市場におけるトップシェアグループに入るタイヨーエレクトリックブランドを確立することを目指してまいります。

経営指標として、下記の指標を中期の目標としております。

・売上高経常利益率 10%以上（平成22年3月期）

当社は、売上高経常利益率を安定的に維持し事業拡大に向けた財務体質の強化を図ることが、株主の皆さまのご期待に応えることであると考えており、今後とも業務に励む所存であります。

## ● 財務諸表

## 貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末 平成18年3月31日現在	当期末 平成19年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	14,851	13,946
固定資産	3,725	3,976
有形固定資産	2,636	2,955
無形固定資産	38	37
投資その他の資産	1,050	982
資産合計	18,577	17,922
<b>負債の部</b>		
流動負債	12,834	11,628
固定負債	2,340	979
負債合計	15,174	12,607
<b>資本の部</b>		
資本金	950	—
資本剰余金	992	—
資本準備金	992	—
利益剰余金	1,286	—
利益準備金	192	—
当期末処分利益	1,093	—
その他有価証券評価差額金	175	—
自己株式	△1	—
資本合計	3,402	—
負債及び資本合計	18,577	—
<b>純資産の部</b>		
株主資本	—	5,207
資本金	—	2,881
資本剰余金	—	2,917
利益剰余金	—	△589
自己株式	—	△1
評価・換算差額等	—	108
その他有価証券評価差額金	—	108
純資産合計	—	5,315
負債及び純資産合計	—	17,922

## 損益計算書

単位：百万円

科目	前期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	当期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
売上高	18,678	13,521
売上原価	13,559	10,908
売上総利益	5,119	2,613
販売費及び一般管理費	4,284	4,150
営業利益又は営業損失(△)	834	△1,536
営業外収益	97	58
営業外費用	69	98
経常利益又は経常損失(△)	861	△1,576
特別利益	9	—
特別損失	24	63
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	846	△1,639
法人税、住民税及び事業税	46	14
当期純利益又は当期純損失(△)	800	△1,654
前期繰越利益	292	—
当期末処分利益	1,093	—

## キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	前期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	当期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	121	△784
投資活動によるキャッシュ・フロー	△416	△395
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,111	1,587
現金及び現金同等物の増加額	1,816	407
現金及び現金同等物の期首残高	2,723	4,540
現金及び現金同等物の期末残高	4,540	4,947

## 株主資本等変動計算書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

単位：百万円

	株主資本					自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本剰余金		利益剰余金						
	資本金	資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
前期末残高	950	992	192	1,093	1,286	△1	3,227	175	3,402
当期変動額									
新株の発行	1,930	1,924					3,855		3,855
剰余金の配当(注)				△221	△221		△221		△221
当期純損失				△1,654	△1,654		△1,654		△1,654
自己株式の取得						△0	△0		△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								△67	△67
当期変動額合計	1,930	1,924	—	△1,875	△1,875	△0	1,979	△67	1,912
当期末残高	2,881	2,917	192	△782	△589	△1	5,207	108	5,315

(注) 平成18年6月開催の定時株主総会における利益処分項目であります。

## 総資産・純資産

単位：百万円



## 売上高

単位：百万円



## 経常利益

単位：百万円



## 当期純利益

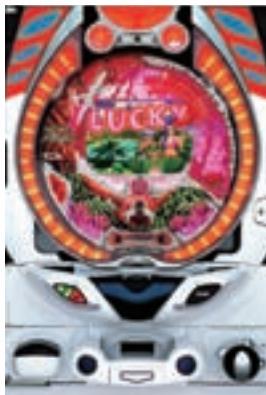
単位：百万円



## ● トピックス

## CR大陸物語

平成18年5月9日(火)に、東京支店ショールームにてパチンコ新機種「CR大陸物語」のプレス発表会および内覧会を開催、本社および各支店、営業所ショールームにて内覧会を開催しました。

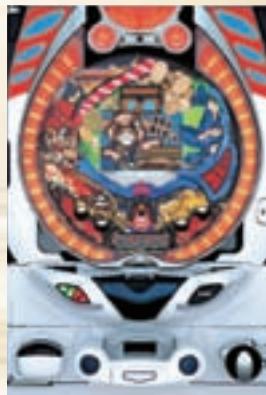


## CR五右衛門CX

平成18年6月19日(月)に、人気機種「CR五右衛門」の最新シリーズ機「CR五右衛門CX」の内覧会を、本社および各支店、営業所ショールームにて行いました。

最新シリーズ機「CR五右衛門CX」は、現在市場で人気の高い「ハネデジタイプ」であり、既に当社からリリース済みのハネデジタイプ「CR演歌の歌姫

八代亜紀ACX」、「CR大陸物語CX」とともに、業界の活性化に向けて市場投入をしました。



## CR超神の剣

平成18年7月20日(木)に、東京支店ショールームにてパチンコ新機種「CR超神の剣」のプレス発表会および内覧会を開催、本社および各支店、営業所ショールームにて内覧会を開催しました。



## CRスタートレック

平成18年10月2日(月)PLATINUM NAGOYA、3日(火)PLATINUM OSAKA、6日(金) velfalleにおいて、新枠「LALUZ(ラルース)」第1弾となるパチンコ新機種「CRスタートレック」の発表会を開催しました。また、10月4日(水)より各支店、営業所ショールームにて内覧会が開催され、10月5日(木)に、つくば国際会議場で展示会を開催しました。

## CR機動新撰組 萌えよ剣

平成18年12月12日(火)に、東京ドームホテル 地下1階「シンシア」(東京都文京区)にてパチンコ新機種「CR機動新撰組 萌えよ剣」のプレス発表会を開催しました。

約130名ものプレスの方々がおみえになり、当社への期待の高さとともに大盛況の発表会となりました。特別ゲストとして西本はるかさんをおよびしました。

©2002 RED/高橋留美子 ©2002 ENTERBRAIN,INC. ©2005 萌えよ剣製作委員会  
「CR萌えよ剣」では、株式会社白舟書体の「侍」フォントを使用しております。

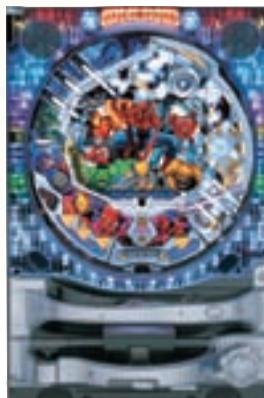


## CRハムナプトラ

平成19年4月10日(火)に、パチンコ新機種「CRハムナプトラ」のプレス発表会を開催しました。また、平成19年4月10日(火)より本社および各支店、営業所ショールームにて内覧会を開催しました。

## CRマーベルヒーローズ、お江戸大捜査線

平成19年2月9日(金)に、ラ・ベル オーラムB2階「ラ・サルロイヤル」(東京都台東区)にてパチンコ新機種「CRマーベルヒーローズ」、当社パチスロ5号機第一弾となるパチスロ新機種「お江戸大捜査線」のプレス発表会を開催、本社および各支店ショールームにて内覧会を開催しました。



TM&© 2007 MARVEL This machine is produced under MARVEL license.



## 大阪支店移転のお知らせ

平成18年12月4日(月) 開設  
〒556-0016 大阪府大阪市浪速区元町1丁目11番16号  
ヴォンジョルノ難波1階  
TEL 06-6633-7677 FAX 06-6633-7877

ショールームを大幅に拡充し、より一層の集客力アップを図り顧客サービスの向上と関西エリアのさらなる強化を進めてまいります。

## ● 対処すべき課題

当社を取り巻く環境は、ホールの二極化により店舗数の減少傾向が続くなか、遊技機メーカー間の競争がさらに激しくなると予想されます。このような状況のもと当社では、次の施策を柱とし事業改革に積極的に取り組むとともに、企業価値および株主価値の最大化に努力してまいります。

### ① 研究開発活動の強化

当社は、「コーポレートブランドの確立」を目指し、時代と情報を取ったゲーム性・ビジュアル性・サウンド性・オリジナル性および豊富な演出に重点を置いたクオリティの高い機種開発を積極的に推進してまいります。また、市場の動向やニーズに即応したスピードと機動力のある開発体制をさらに強化することにより、開発期間を短縮化・効率化し、多様なバリエーションある企画開発を行い、パチンコ機・パチスロ機とともに年間発売機種数を安定的に市場投入してまいります。

### ② 営業体制および顧客サービスの強化

当社は、競合他社の販売状況やホールからの製品評価等の情報を集約・分析し、開発本部および営業本部に迅速にフィードバックすることにより、きめ細かい市場ニーズに対応できる総合マーケティング戦略をさらに高度化し、強化してまいります。また、営業社員への研修教育を継続的に実施し、営業の質・レベルを向上させることにより顧客満足度をさらに高める差別化されたサービスを提供してまいります。

### ③ 内部統制システムの強化

当社は、業務の有効性・効率性を高め財務報告の信頼性を確保し、事業活動に関わる法令等の遵守を促進し資産の保全を図るため、内部統制システムを再構築してまいります。また、諸規程、諸制度を整備するとともに、リスク管理、コンプライアンス体制等の整備および充実により、経営体制の強化を目指してまいります。

### ④ 品質管理およびセキュリティの強化

当社は、品質・セキュリティに対する関心が高まるなか、開発における品質に対するセキュリティ基準、管理および設備に対するセキュリティ基準、さらに量産体制下における検査工程基準等のレベルを高めていくことにより、顧客の信頼と期待に応えるサービスを提供し、より一層の顧客満足度の向上を図ってまいります。

### ⑤ 安定的な収益基盤の強化

当社は、商品の企画開発、部材の調達、生産、営業にまでわたるコスト構造の見直しを行うとともに、取引先との協力体制を強化することにより、コストダウンに総力をあげて取り組んでまいります。

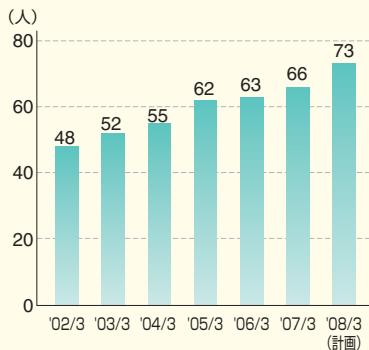
### ⑥ 財務体質の強化

当社は、資金の効率化や保有資産の見直し等により、有利子負債の削減に取り組むとともに、市場環境の変化に対応すべく将来の事業展開のための投資を具現化できる財務体質を目指してまいります。

### ⑦ 人的資源の活性化

当社は、「企業は人なり」をモットーに、さらなる人材育成を強化してまいります。コンプライアンス意識にくわえ、経営環境の変化に柔軟に対応できる次世代リーダーを育成するためのオリジナル研修プログラムにより、組織や個人の活性化を進めてまいります。

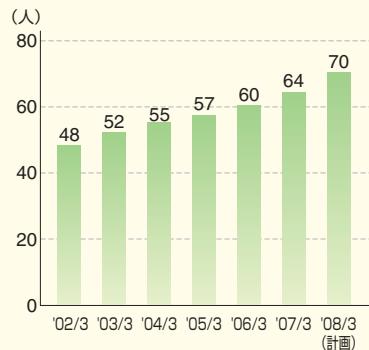
■研究開発部門スタッフ数の推移



■研究開発費の推移



■営業スタッフ数の推移



## サミー株式会社との事業および資本提携

当社は、平成19年3月5日開催の取締役会において、当社とサミー株式会社との間で資本提携を含めた事業提携を行うことを決議し、同日付で「事業及び資本の提携に関する基本合意書」を締結いたしました。

### ①資本提携および事業提携の理由

平成16年7月に施行された「風適法施行規則等の改正」を受け、各遊技機メーカーの新基準機の開発が活発化しているものの、全国のホール数・遊技人口は減少傾向が続いており、今後新規ユーザーの取り込みや市場から離れたユーザーを呼び戻すため、よりいっそう遊びやすく、また斬新な機械の供給による市場の活性化が業界としての課題となっております。

そのような状況下において、当社は、知的財産権実施許諾契約を締結し以前から協力関係にありましたサミー株式会社とともに、業界ならびに両社の発展を目指すこととし、パチンコ遊技機・パチスロ遊技機・アレンジボール遊技機・じゃん球遊技機・その他エンタテインメントに関連する事業およびそれらに付帯するサービスに関する分野で、開発、製造、販売等の協力関係を構築し、また両社の関係を強固なものとするため資本の提携を行うとともに、当社の財務基盤強化を図るものであります。

### ②資本提携の内容

サミー株式会社は、当社が行う第三者割当増資による新株式5,623,000株（発行価額の総額3,705,557,000円）を、平成19年3月23日付で33.4%取得したことにより、当社はサミー株式会社の持分法適用会社となりました。

### ③事業提携の内容

パチンコ遊技機・パチスロ遊技機・アレンジボール遊技機・じゃん球遊技機・その他エンタテインメントに関連する事業およびそれらに付帯するサービスに関する分野で、開発、製造、販売等の協力を行う予定であります。具体的内容につきましては、「提携推進委員会」にて両社間で協議を進めてまいります。

## ● 企業データ

## 会社概要

- 会社名 タイヨーエレクトリック株式会社
- 本社所在地 〒452-0839 名古屋市西区見寄町125番地
- 設立 昭和48年7月11日
- 資本金 28億8,114万2,016円
- 事業内容 バチンコ機の開発、製造、販売  
パチスロ機の開発、製造、販売
- 従業員数 197名 (平成19年3月31日現在)
- 主要取引先銀行 株式会社 第三銀行  
株式会社 三菱東京UFJ銀行  
株式会社 名古屋銀行  
株式会社 中京銀行  
株式会社 三井住友銀行  
株式会社 十六銀行  
中央三井信託銀行 株式会社
- 加入団体 日本遊技機工業組合

## 役員 (平成19年6月29日現在)

- 代表取締役会長 佐藤 昭 治
- 代表取締役社長 佐藤 英理子
- 専務取締役 古川 恵(新任)
- 常務取締役 三宅 昇 吾
- 取締役 加藤 浩 二
- 取締役 山本 國 昭
- 取締役 高橋 真(新任)
- 常勤監査役 神田 廣太郎
- 監査役 犬飼 勲
- 監査役 古田 五百三
- 監査役 正村 俊 記
- 上席執行役員 池田 憲 治
- 上席執行役員 筒井 雄 次
- 執行役員 納富 康
- 執行役員 佐藤 真 朗
- 執行役員 渡邊 暢 彦

## ネットワーク

- 本社・本社工場 名古屋市西区見寄町125番地 TEL (052) 502-9222 (代)
- 札幌支店 札幌市東区北7条東3丁目28番32号 TEL (011) 753-2022 (代)  
井門札幌東ビル2階
- 仙台支店 仙台市太白区泉崎2丁目25番15号 TEL (022) 743-2276 (代)  
早川ビル1階
- 千葉支店 千葉市中央区中央1丁目7番8号 TEL (043) 201-3088 (代)  
シグマビル4階
- 東京支店 東京都台東区東上野2丁目20番1号 TEL (03) 3833-0244 (代)  
晴花ビル1階
- 横浜支店 横浜市西区北幸1丁目5番4号 TEL (045) 317-4788 (代)  
三協ビル5階
- 名古屋支店 名古屋市西区見寄町125番地 TEL (052) 506-2656 (代)
- 大阪支店 大阪市浪速区元町1丁目11番16号 TEL (06) 6633-7677 (代)  
ヴォンジョルノ難波1階
- 神戸営業所 神戸市中央区磯辺通3丁目2番11号 TEL (078) 231-0051 (代)  
三宮ファーストビル1階
- 福岡支店 福岡市博多区博多駅東3丁目4番10号 TEL (092) 437-5155 (代)  
コマバビル1階



本社社屋

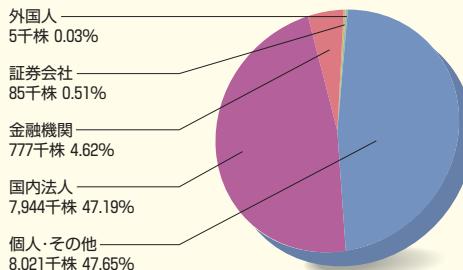
## 株式データ(平成19年3月31日現在)

■会社が発行する株式の総数	41,800,000株
■発行済株式の総数	16,833,748株
■単元株式数	100株
■株主数	1,151名
■大株主	

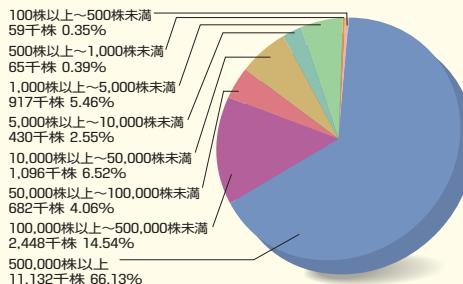
株主名	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
サミー株式会社	5,623	33.40
佐藤英理子	2,620	15.56
株式会社サン・ライン	1,850	10.98
佐藤昭治	1,038	6.17
佐藤麻奈美	464	2.75
三宅亜紀	350	2.07
柏原俊高	320	1.90
佐藤照子	238	1.41
株式会社第三銀行	222	1.31
株式会社三菱東京UFJ銀行	150	0.89

(注) 1. 株式数は千株未満、所有株式の割合は少数第2位未満を切り捨てております。  
 2. 株式会社サン・ラインは、当社代表取締役会長 佐藤昭治 1株(同0.5%)、同代表取締役社長 佐藤英理子 168株(出資比率84.0%)、同常務取締役 三宅昇吾 12株(同6.0%)の株式を所有しております。

## ■所有者別株式分布状況



## ■所有株式数別分布状況



(注) 株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

## 株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	毎年6月
■株主確定基準日	期末配当金 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日 その他必要ある場合はあらかじめ 公告いたします。
■株式事務取扱場所・取次所	
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社

■同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 (〒460-8685) 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部 TEL0120-78-2031(フリーダイヤル)
■同取次所	中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
■公告の方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事情により 電子公告ができない場合、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載アドレス( <a href="http://www.taiyoelec.co.jp/ir/koukoku/">http://www.taiyoelec.co.jp/ir/koukoku/</a> )
■単元株式数	100株 (注) 平成18年8月1日より1,000株から100株に変更しております。

## ■お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

■ ホームページでもIR情報を公開しています。

当社の最新情報をスピーディーにご提供するために、ホームページを開設しております。  
投資家の皆様への情報も充実させておりますので、ぜひご覧ください。



**タイヨーエレクトリック株式会社**

名古屋市西区見寄町125番地 TEL(052)502-9222(代) <http://www.taiyoelec.co.jp/>